

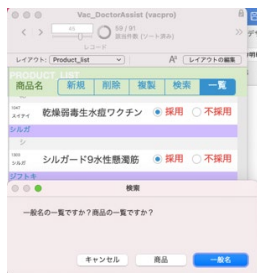
第1章 新しいワクチン作成

第1項 ワクチン作成の概略



最初のページから図のように進んで製品を出します。

上部の「一覧」ボタンを押します。



下図の左が一般名、右が商品名です。



一般名はワクチン種類名でその種類には1個のみ定義してください。

以下のワクチンは定義済みです。

<一般的なもの> 麻しん風しんワクチン 日本脳炎ワクチン 四種混合ワクチン BCG ワクチン Hib ワクチン サーバリックス ガーダシル 二種混合ワクチン おたふくかぜワクチン 水痘ワクチン ロタリックス ロタテック インフルエンザワクチン HB ワクチン 肺炎球菌ワクチン 風しんワクチン 麻しんワクチン HA DTaP COVID-19 成人用肺炎球菌

<その他> 成人用三種混合 成人用肺炎球菌 不活化ポリオワクチン 4 価髄膜炎菌ワクチン 黄熱ワクチン 乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組換え帯状疱疹ワクチン (チャイニーズハムスター卵巣細胞由来) 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降破傷風トキソイド (その他のものは予約出来ますが、公費請求としての定義は出来ていません。)

商品名は流通の商品名です。一般名が1つなのに対し製造するメーカーが多数存在し、従って商品名は多数あることが多いです。

一覧のレコード (上図) を押して、麻しん風しんワクチン (下図) を出してみます。



新しく作る場合は赤丸の名前が一致するようにして下さい。商品名では「商品のスキャン」ボタンを利用し、ロットを読ませて下さい。ロットは改行にて複数入力出来るようになっています。これを元に接種時のワクチンの種類を探し、ロットが入力されるようになっています。入力済みのワクチンに習って一般名と商品名を作成していきます。商品名のうち採用するものは、その一般名に対して1つのみ選択して下さい（一覧で並べて一個のみ採用してを入力）。採用にはfg_ワクチン名が入力されます。

第2項 ワクチン作成の実際

設定例 五種混合ワクチンを新規に作ります。

(レコード作成) → (フィールド定義) → (スクリプト定義) → (レイアウト変更)

(レコードの作成) → (スクリプト定義) ボタン用と自動予約用

まず、「一般名」の無いものはかならず先に一般名を作成します。リストのレイアウト Product_list なら、どのレコードでも押して、個々のレイアウト Product を開けます。上部の新規ボタンを押し、ダイアログが現れますので「一般名」を選択し、一般名と略称を入力します。(下図)



「OK」を押すとまず商品タブになっていますので一般名タブを押してみます。一般名レコードができました。終了時にアラートが出ますので許可を押します。



次に「商品名」を作成します。今度はダイアログで商品を選択します。



クリニック ID(施設番号)を入れるようにアラートか出ますので、中の赤丸の中に施設番号を入力します。入力後は施設名が表示されるようになります。



商品名、個数、JAN コード、備考を入れます。r_ワクチン種類は一般名で入力した「五種」

を選択します。

11:34 DoctorAssist (vacpro) •

PRODUCT

単位 ● 個 ○ 本 ○ 箱

JA

商品のスクリーン

JANコードは変わります。複製入力可です。翌日のコードー印刷時でワクチン名が正しいと確認してください

現在の申請は阪大微研とKMバイオロジクスの2社

備考1

r_ワクチン名 fg_ワクチン

r_ワクチン種類

< > ± 終了

ログアウト

発熱

狂犬病

五種

四種

髄膜炎菌

帯状

単ボ

まだ他の五種混合ワクチンの商品名はないのでこれを採用にします。

11:35 DoctorAssist (vacpro) •

PRODUCT

商品名 一般名 Y&P100ヒセツブアニーブ

ワクチン_発注

ID 1124 ● 採用 ○ 不採用

商品名 商品名ゴシュ

単位 ● 個 ○ 本 ○ 箱

JA

商品のスクリーン

JANコードは変わります。複製入力可です。翌日のコードー印刷時でワクチン名が正しいと確認してください

現在の申請は阪大微研とKMバイオロジクスの2社

備考1

r_ワクチン名 五種 fg_ワクチン

r_ワクチン種類 五種

作成日時 2022/07/26 11:03:31

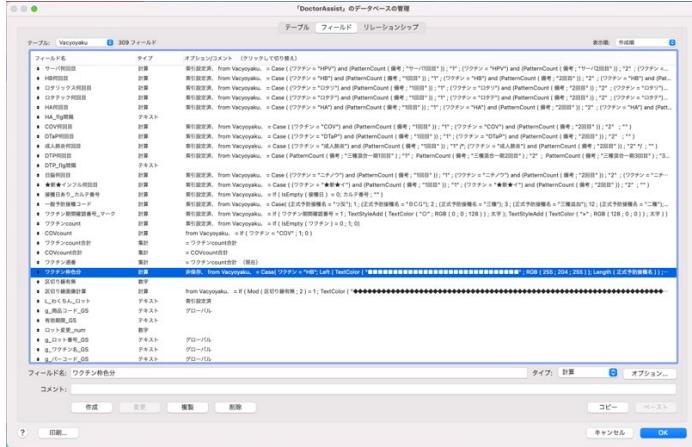
修正日時 2022/07/26 11:35:11

< > ± 終了

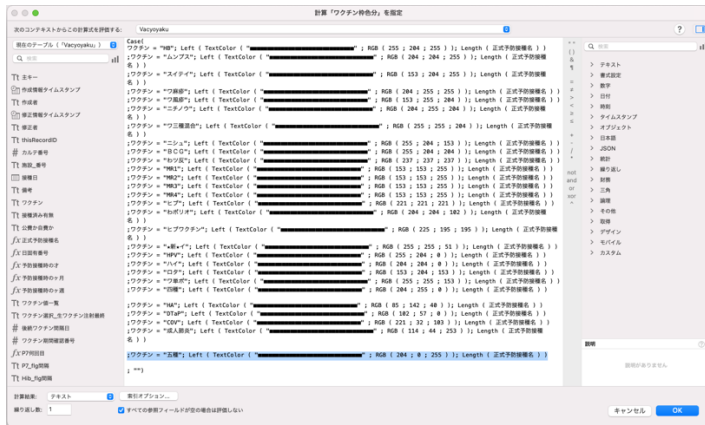
(フィールド定義)

メニューからファイル>管理>データベース…を開き

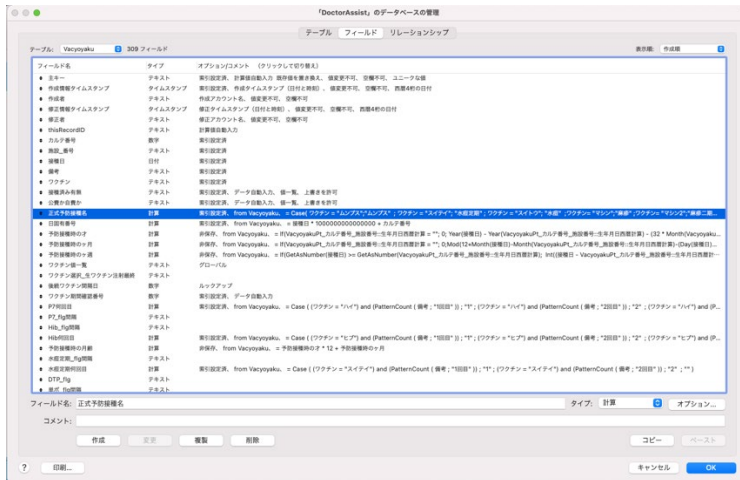
Vacyoyaku テーブルのワクチン枠色分を開き変更します。



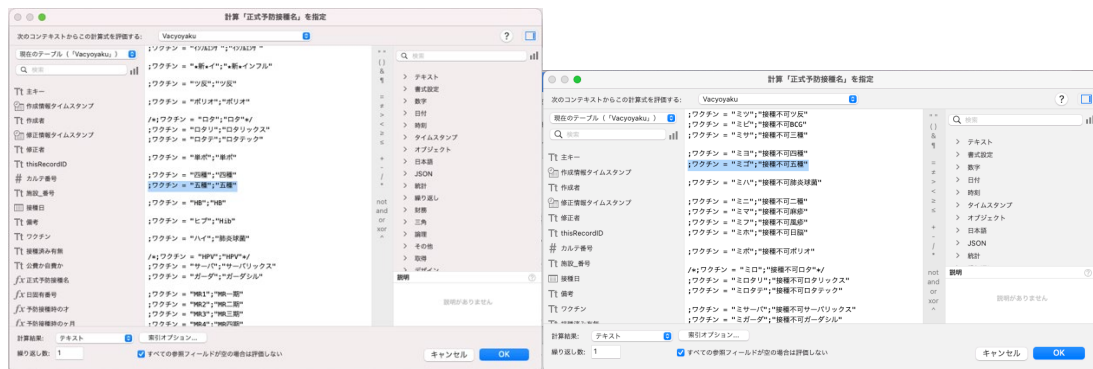
五種混合ワクチンを追加します。ワクチンは先ほど一般名で指定した略称を入力(任意)しました。



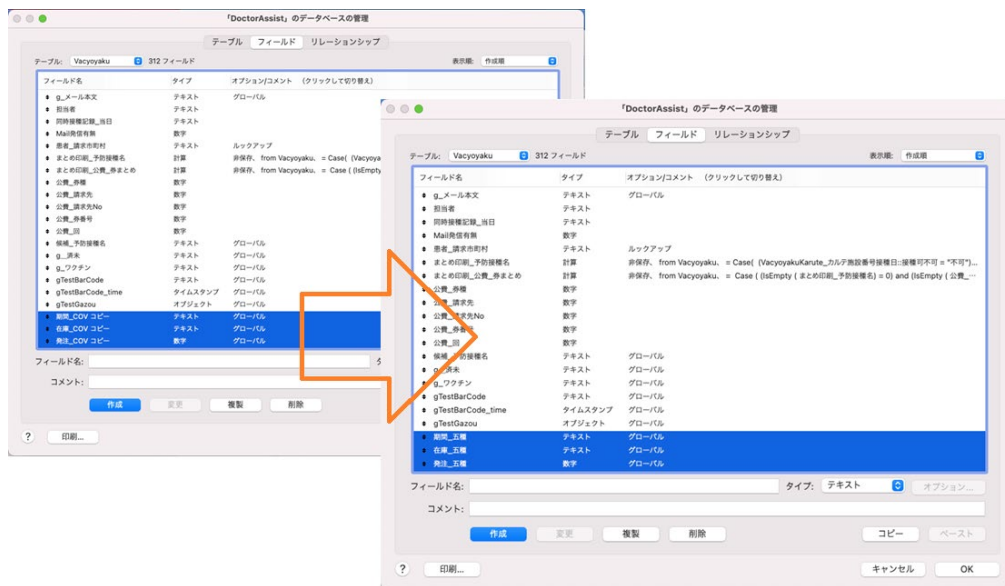
Vacyoyaku テーブルの正式予防接種名を開き変更します。



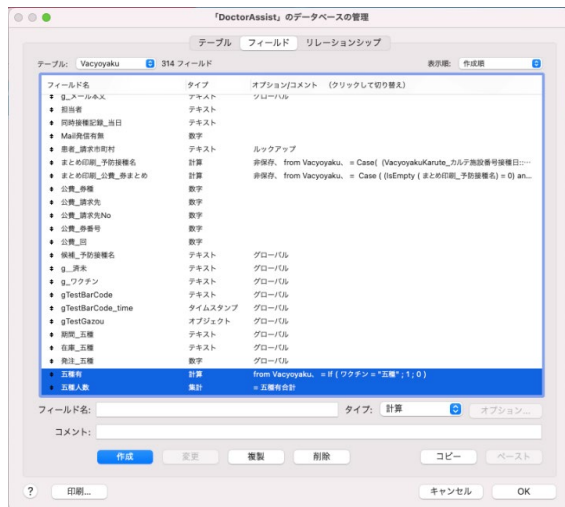
四種にならって五種の2ヶ所を追加しました(下図 名称は任意)。



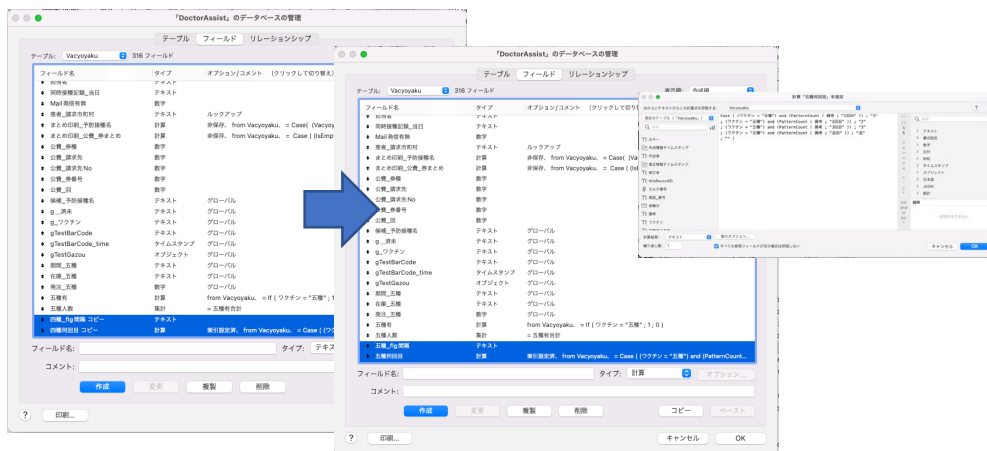
公費請求用にフィールドを新しく追加します。期間_COV、在庫_COV、発注_COV など同種のを複製し名称を変更しておきます。



同様にして五種有、五種人数も新規フィールドを追加しました。

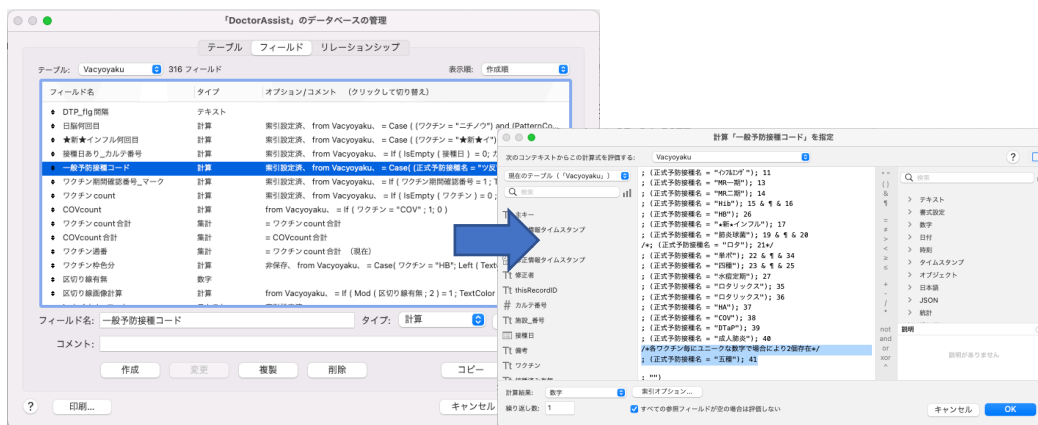


公費請求用に四種_flg 間隔、四種何回目の 2 項目を複製し 5 種用に変更します。

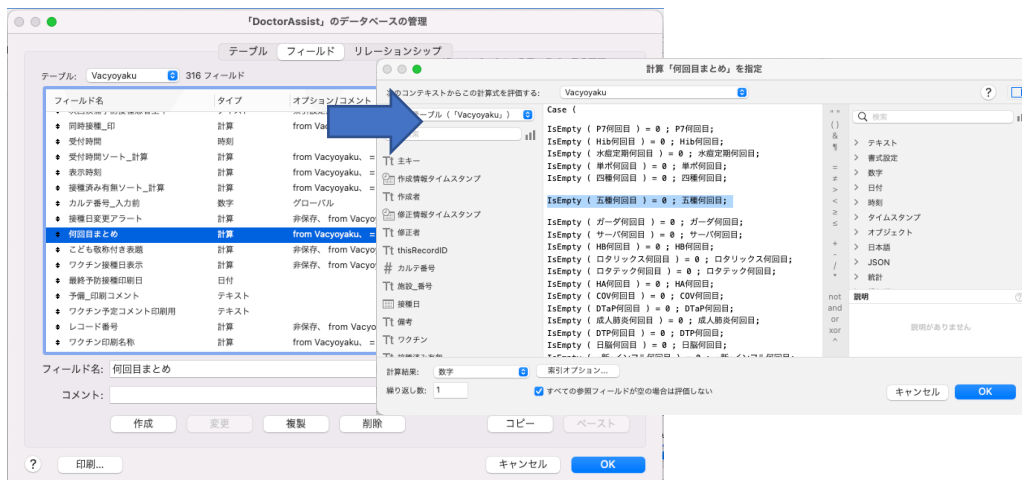


五種_flg 間隔、五種何回目も新規フィールドを追加しました。

一般予防接種コード (ユニークな数字 五種は 41 にしました) を作成します。重要です!



「何回目まとめ」フィールドも五種のものを追加します。



ここで少しですが、プログラムと一緒に考えて進めてみましょう。

Master テーブルを出します。

現行の四種体制に五種体制が始まっていく過程で問題となりそうなことをプログラムに落とし込んでいきましょう。

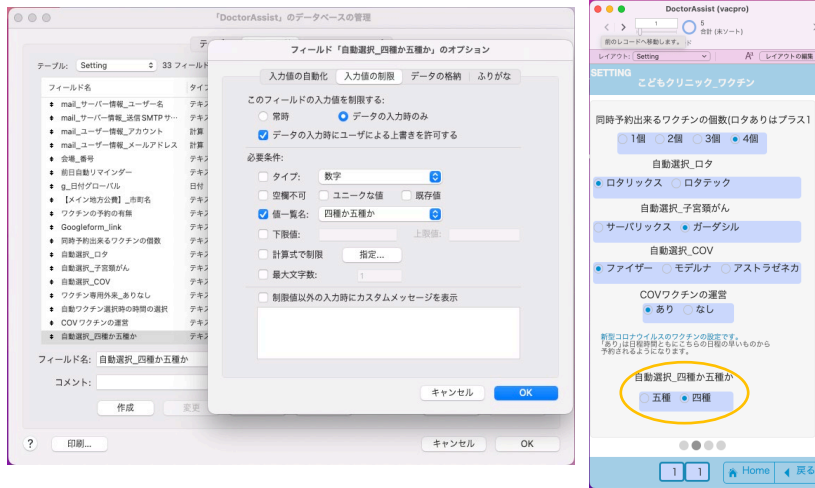
五種混合は四種プラス Hib ワクチンですので下図の印の部分の部分が置き換わるように順番を決める必要があります。

The screenshot shows the DoctorAssist (vacpro) interface. The Master table is visible, showing vaccine types and their counts. The detailed view shows the following data:

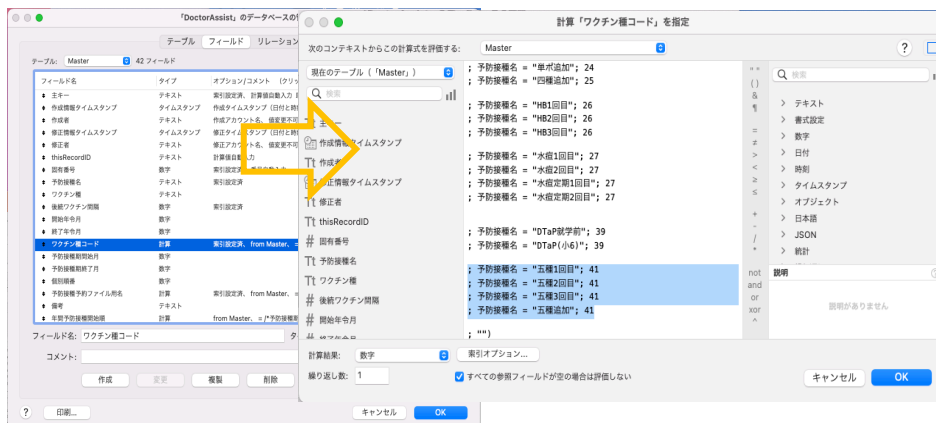
Vaccine Type	Count 1	Count 2	Count 3	Count 4	Count 5	Count 6	Count 7	Count 8	Count 9	Count 10	Count 11	Count 12	Count 13	Count 14	Count 15	Count 16	Count 17	Count 18	Count 19	Count 20	Count 21	Count 22	Count 23	Count 24	Count 25	Count 26	Count 27	Count 28	Count 29	Count 30	Count 31	Count 32	Count 33	Count 34	Count 35		
Hib3回目	217	15	11	12	2	ケ月~	7	ケ月	7日																												
肺炎球菌3回目	252	19	12	13	2	ケ月~	12	ケ月	7日																												
四種3回目	189	23	13	14	3	ケ月~	60	ケ月	7日																												
B C G	2	14	15	5	ケ月~	11	ケ月	28日																													
HB3回目	112	26	15	16	1	ケ月~	6	ケ月	7日																												
肺炎球菌追加	20	16	17	12	ケ月~	15	ケ月	7日																													
MR一册	1750	13	17	18	12	ケ月~	24	ケ月	28日																												
Hib追加	16	18	19	12	ケ月~	24	ケ月	7日																													
水痘1回目	98	27	19	20	12	ケ月~	15	ケ月	28日																												
ムンプス1回目	28	8	20	21	12	ケ月~	90	ケ月	28日																												
四種追加	25	21	22	12	ケ月~	60	ケ月	7日																													
水痘2回目	27	22	23	18	ケ月~	27	ケ月	28日																													

また四種と五種の移行段階のことも考え、スタートの人は、四種と五種のどちらかの選択かを選ぶことが必要です。また四種で進行している人は四種のままの順番で進めていく必要があります。後者はPtの四種混合か Hib の履歴がある人になりますので何とかしてなりそうです。そこで前者をプログラムに落とし込んでいきます。

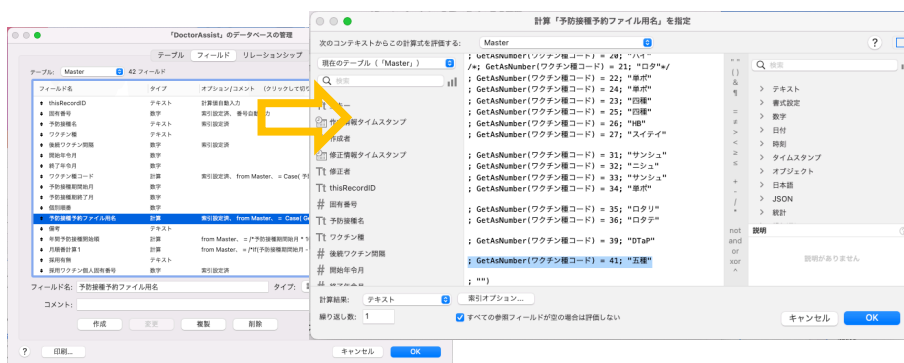
まずは Setting テーブルで「自動選択_四種か五種か」を作成し、値一覧も用意して右のようにレイアウトに配置、現行ではまだ五種が始まっていないので自動入力には四種にしています。



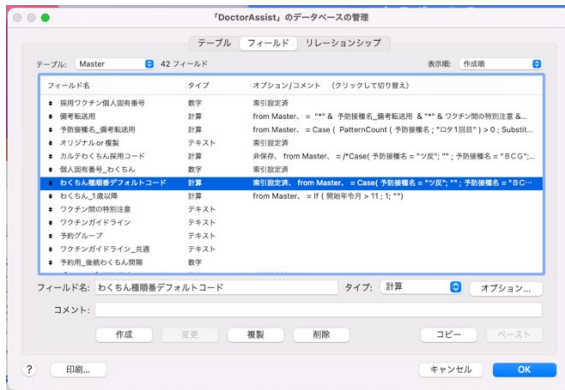
次にワクチンの自動入力の順番を決める Master テーブルを整えます。ワクチン種コードは前回作成した、41 で作成してします。



予防接種予約ファイル用名も五種のを追加します。



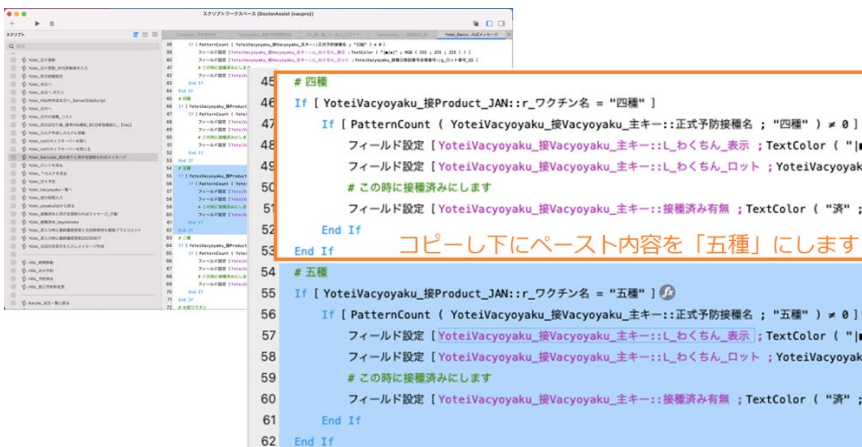
のちに順番作りでフィールドのわくちん種順番デフォルトコードの修正は必要そうですので後に作業しましょう。



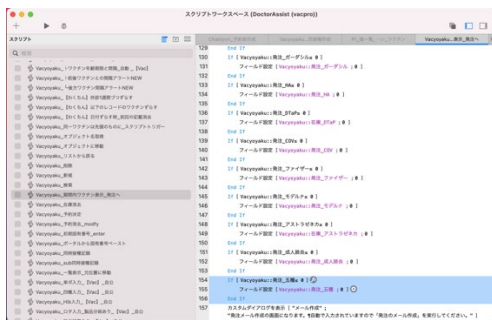
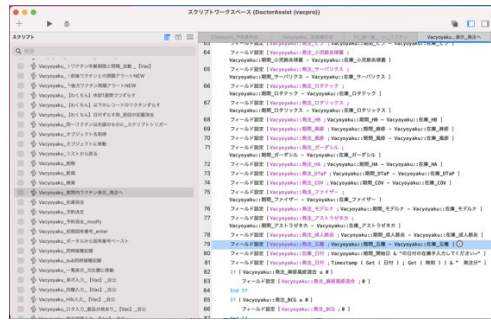
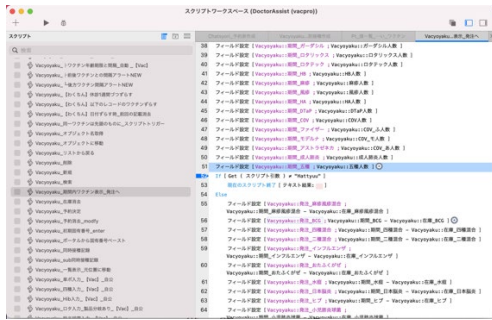
フィールド定義はこのくらい考えて動かせてみて直すことにします。
 今度は Master テーブルで五種の関連の скриптを作成します。これは、次の скрипт定義の途中からにします。(P. 12 の途中から)

(スクリプト定義)

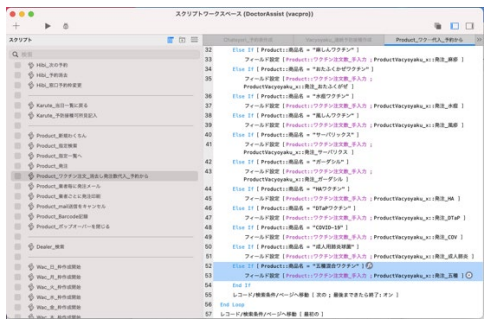
スクリプトワークスペース…> Yotei_Barcode_読み取りと済が全部終わればメッセージ



スクリプトワークスペース…> Vacyoyaku_期間内ワクチン表示_発注へ
 次の3ヶ所を追加します。



スクリプトワークスペース…>Product_ワクチン注文_消去し発注数代入_予約から
五種混合ワクチンのものを追加します。

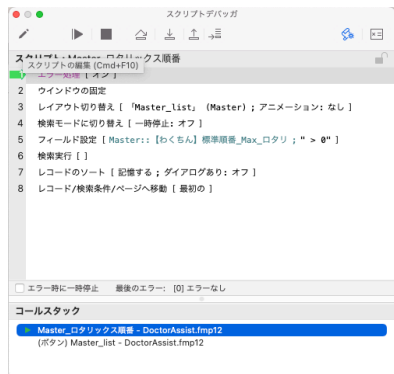


プログラムと一緒に考えて進めてみましょう。の続きです。

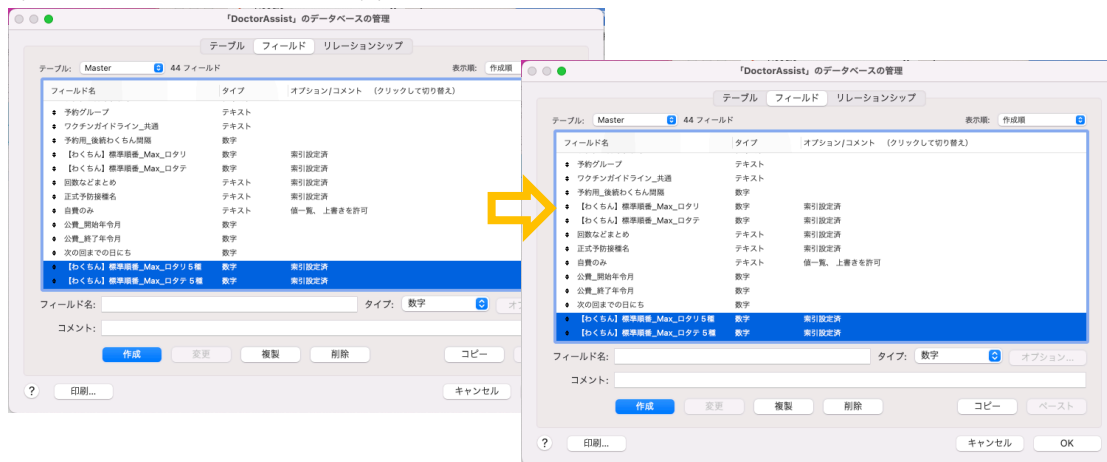
Master テーブルを眺めてみます。



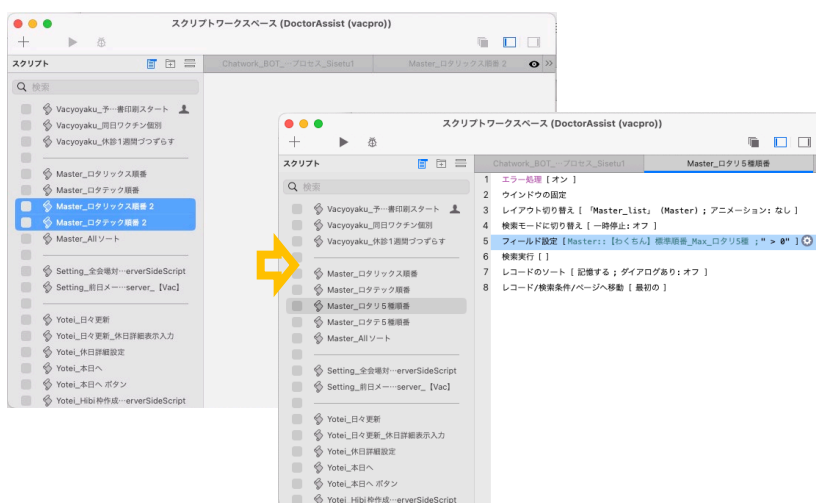
「ロタリ」「ロタテ」ボタンを押すと四種、Hib が加わった形で、ワクチンの接種順に並びます。5種は、四種と Hib を除いた形で順番を作成する必要があります。まず、「ロタテ」のスクリプトを見てみます。デバッカを動かしてみます。



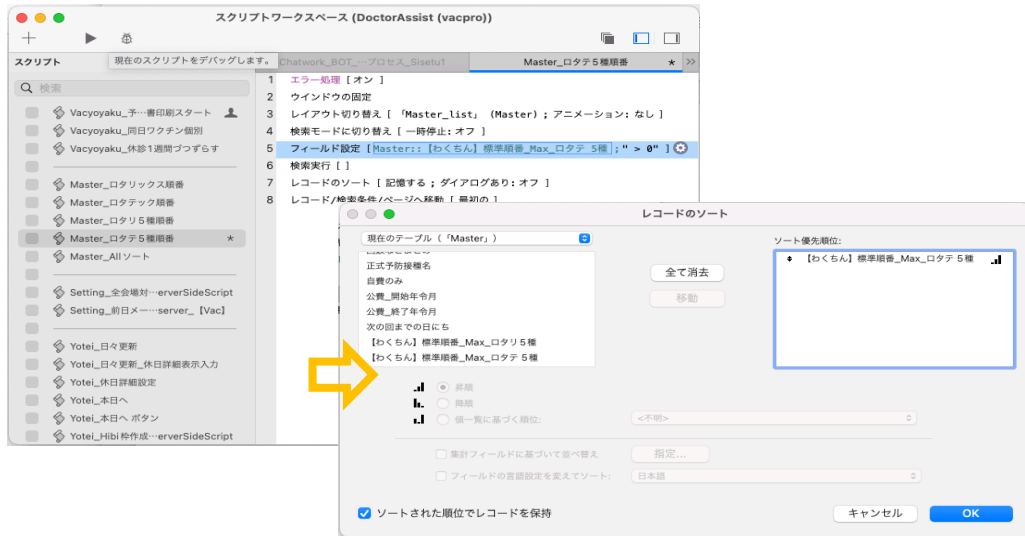
5行目の Master::【わくちん】標準順番_Max_ロタリにあるものが検索されているようです。五種用のものをフィールド定義します。



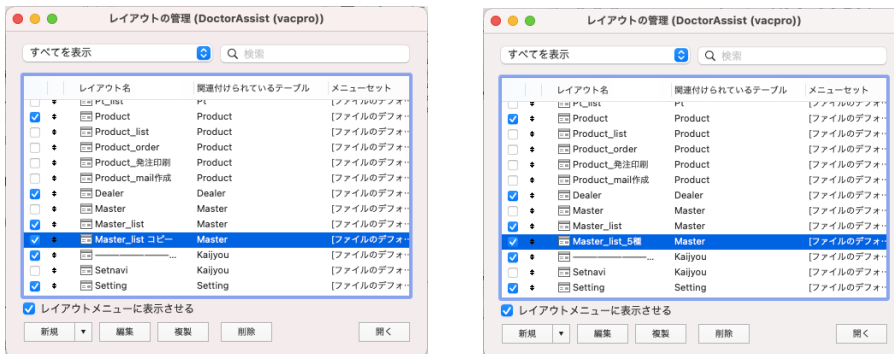
スクリプトも作成していきます。



ソート順も前例にならって書き換えておきます。



Master レイアウトもあまり煩雑にしたいくないので、5 種用のレイアウトの Master_list_5 種を準備します。



Master_list_5 種を出して、上の青の部分のボタン定義 2ヶ所と、下のオレンジのフィールドの 2ヶ所を五種のものに変更します。



略しますが、五種 1 回目、2 回目、3 回目、追加の 4 レコードを追加し、接種順になるよう番号を割り振っていきます。

※この Master は 5 才未満の自動接種に関わるもののみ必要です。

The screenshots show a software interface for managing vaccinations. The left window is titled 'DoctorAssist (vacpro)' and the right is 'DoctorAssist - 2 (vacpro)'. Both windows display a table of vaccination types with columns for '予防接種名' (Vaccination Name), 'ロタリ' (Rotavirus), 'ロタテ' (Rotavirus), 'All', '開始年' (Start Year), '開始月' (Start Month), '終了年' (End Year), '終了月' (End Month), and '後続ワクチン間隔' (Interval of subsequent vaccines). The right window has a 'ロタテック' tab selected, which is highlighted in blue.

予防接種名	ロタリ	ロタテ	All	開始年	開始月	終了年	終了月	後続ワクチン間隔
ロタリックス1回目	35	1	1	ヶ月	6	ヶ月	7	日
肺炎球菌1回目	28	19	2	2	ヶ月	60	ヶ月	7
五種1回目	28	41	3	3	ヶ月	60	ヶ月	7
HB1回目	28	26	4	4	ヶ月	6	ヶ月	7
ロタリックス2回目	35	5	1	ヶ月	6	ヶ月	7	日
肺炎球菌2回目	28	19	6	2	ヶ月	12	ヶ月	7
HB2回目	28	26	7	7	ヶ月	6	ヶ月	7
五種2回目	28	41	8	8	ヶ月	60	ヶ月	7
肺炎球菌3回目	252	19	9	9	ヶ月	12	ヶ月	7
五種3回目	189	41	10	11	3	ヶ月	60	ヶ月
B C G	2	11	12	5	ヶ月	11	ヶ月	28
HB3回目	112	26	12	13	1	ヶ月	6	ヶ月
肺炎球菌追加	20	13	14	12	ヶ月	15	ヶ月	7
五種追加	41	14	15	12	ヶ月	60	ヶ月	7

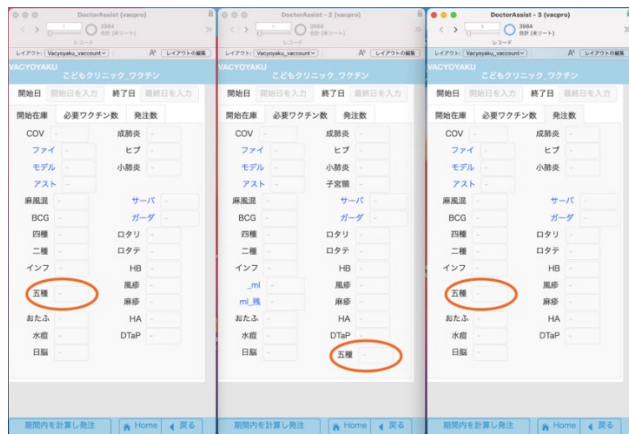
接種の順番は四種混合と同じようにしました。後は五種混合ワクチンの実際の接種法が分かってから、各医療機関の事情により作業にします。

(レイアウト変更)

下図のように在庫から発注を開き開始在庫、必要ワクチン数、発注数それぞれのタブのレイアウトで五種混合ワクチンのものを加えます。

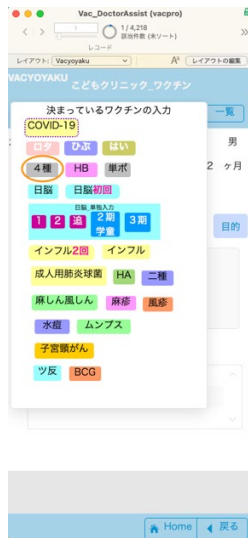


それぞれのレイアウトに追加しました。



(スクリプト定義)ボタン用と自動予約用 ボタン用

五種混合用のものを作成していきます。下図の接種方法が似通っている 4 種に習って五種混合用のものを作成します。



このボタンにはスクリプト Vacyoyaku_四種入力_【Vac】_自公が割り振られていますので、これを複製し五種用にします。同様に Vacyoyaku_が頭についた四種のものも複製してください。

新) Vacyoyaku_五種入力_【Vac】_自公

新) Vacyoyaku_ト5種_間隔表示_単

を作成しました。それぞれスクリプトを開いて四種を五種に入れ替えます。

○リレーションは五種用を作成します。→VacyoyakuVacyoyaku_カルテワクチン 5 種何回目 KaijyouSisetu::

○Pt の五種混合用のフィールドも作成しておきます。→五種_最終接種日、五種_最終何回目

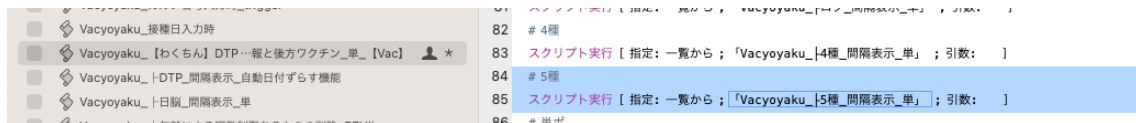
修正) Vacyoyaku_トワクチン年齢期限と間隔_自動 _【Vac】 に五種用も加える。

※内容が四種のものとは違うようであれば追加して下さい。今のところ同じようなので四種の記載のところに追加しています。

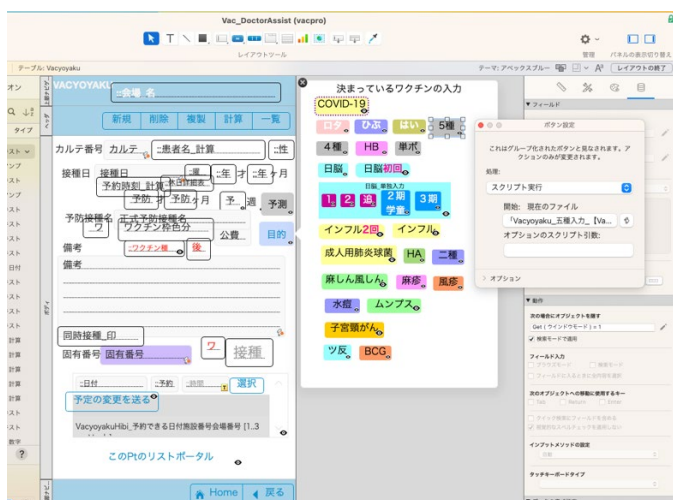


修正) Vacyoyaku_【わくちん】DTP 救済説明の必要性_再評価と日脳患者情報と後方ワク

チン_単_【Vac】に五種用を加える

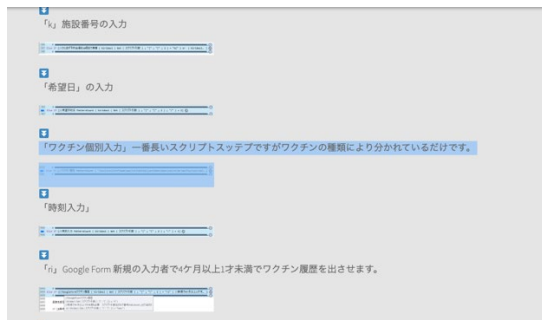


ボタンの準備ができました。ボタンをレイアウトに配置します



自動予約用

修正) Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1 の個別接種用部分から (マニュアル第四章)



自動予約の個別のワクチン入力の部分で四種混合を複製します。\$選択ワクチンは「go」にしました。

Sisetu_会場削除	4624	現在のスクリプト終了 [テキスト結果: Chatwork::speak]
Sisetu_会場修正	4625	
Sisetu_Ptへ移る	4626	End If
Sisetu_Pt検索	4627	End If
Sisetu_Productへ移る	4628	
Sisetu_Dealerへ移る	4630	
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1	4631	Else If [\$選択ワクチン = "yon"]
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1 20230104	4632	# 四種混合
ChatworkPt_選択しない...チンをやり残しから取り除く	4633	If [Vacyoyaku::予防接種時の才 < 5]
Chatwork_BOT_同日ワクチン個別	4634	# 定期接種で5才未満は同日追加になるので回数自動で1個のみに
Chatwork_BOT_Staff入力	4635	スクリプト実行 [指定: 一覧から ; 「Chatwork_BOT_同日ワクチン個別」 ; 引数: \$選択ワクチン]
Chatwork_Staff入力からChatworkに戻す	4636	# 今はVacyoyakuレイアウト
Chatwork_入力表示	4637	If [Get (スクリプトの結果) = "このワクチンは実施済みでした。"]
Chatwork_入力表示off	4638	変数を設定 [\$コメント元 ; 値: "このワクチンは実施済みでした。"]
Chatwork_予定変更を送る	4639	Else
	4640	変数を設定 [\$コメント元 ; 値: GetAsText (Vacyoyaku::接種日) & Case (DayOfWeek (Va_)

から

Sisetu_会場や各科作成	5025	# ここを終了する
Sisetu_会場削除	5026	# speakをChatworkに戻します
Sisetu_会場修正	5027	
Sisetu_Ptへ移る	5028	スクリプト実行 [指定: 一覧から ; 「FMCloud_connectTrigger_引数渡す_chatwork」 ; 引数: " " & Chatwork::T0_ME_room_id & " " & Chatwork::speak & " "]
Sisetu_Pt検索	5029	現在のスクリプト終了 [テキスト結果: Chatwork::speak]
Sisetu_Productへ移る	5030	
Sisetu_Dealerへ移る	5031	End If
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1	5032	End If
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1 20230104	5033	Else If [\$選択ワクチン = "bkan"]
ChatworkPt_選択しない...チンをやり残しから取り除く	5035	# B型肝炎
Chatwork_BOT_同日ワクチン個別	5036	
Chatwork_BOT_Staff入力	5037	If [Vacyoyaku::予防接種時の才 < 5]

までを複製し、五種に変更します。

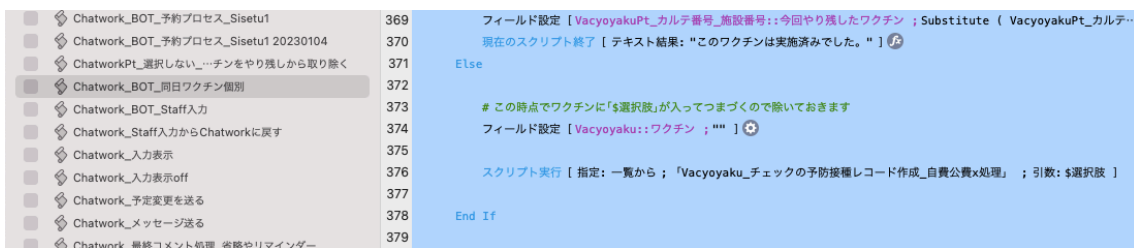
※忘れないように ここで今回の個別ワクチン「go」が通るように下図のワクチン個別入力の先頭のところに加えます。

Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1 *	1341	
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1 20230104	1342	
ChatworkPt_選択しない...チンをやり残しから取り除く	1343	#
Chatwork_BOT_同日ワクチン個別	1344	Else If [//ワクチン個別
Chatwork_BOT_Staff入力	1345	PatternCount ("cov1cov2infmumjaprot[h]ib[h]ai[yon]bkan[j]kan[sei]ni[m]ma[f]u[sui]sik tu bc[go]" ; " " & kiridasi (Get (スクリプト引数) ; " " ; " " ; 2) & " ") ≠ 0
Chatwork_Staff入力からChatworkに戻す	1346	#
Chatwork_入力表示	1347	# " "&第2引数&" "とすると「cov」など除外できる
Chatwork_入力表示off	1348	
Chatwork_予定変更を送る	1349	# 第6引数のあるものは5歳未満のワクチン選択で2回目に戻ってきたものです。

修正) Chatwork_BOT_同日ワクチン個別 四種混合の部分

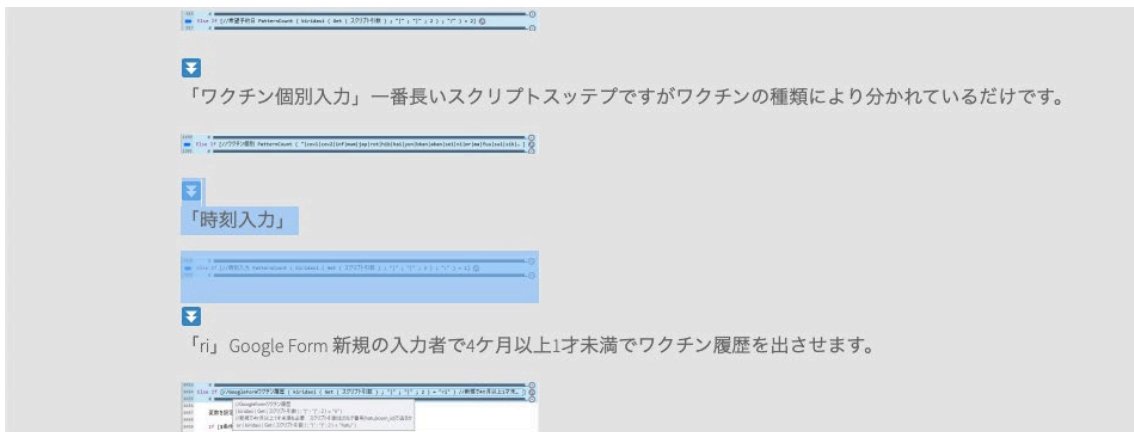
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1	331	
Chatwork_BOT_予約プロセス_Sisetu1 20230104	332	Else If [\$選択ワクチン = "yon"]
ChatworkPt_選択しない...チンをやり残しから取り除く	333	
Chatwork_BOT_同日ワクチン個別	334	# 同日追加接種用
Chatwork_BOT_Staff入力	335	# 値一覧作成
Chatwork_Staff入力からChatworkに戻す	336	
Chatwork_入力表示	337	If [VacyoyakuChatwork_カルテ番号施設番号会場番号::連続 = "連続"]
Chatwork_入力表示off	338	# 連続処理は履歴にはないので工夫する
Chatwork_予定変更を送る	339	
Chatwork_メッセージ送る	340	フィールド設定 [Vacyoyaku::g_ワクチン ; "四種"]
Chatwork_最終コメント処理_省略やリマインダー	341	
Chatwork_errReport ex	342	If [IsEmpty (VacyoyakuVacyoyaku_カルテgワクチンSisetuKaijyou::四種何回目)]
	343	変数を設定 [\$選択数 ; 値: "四種1回目"]

から

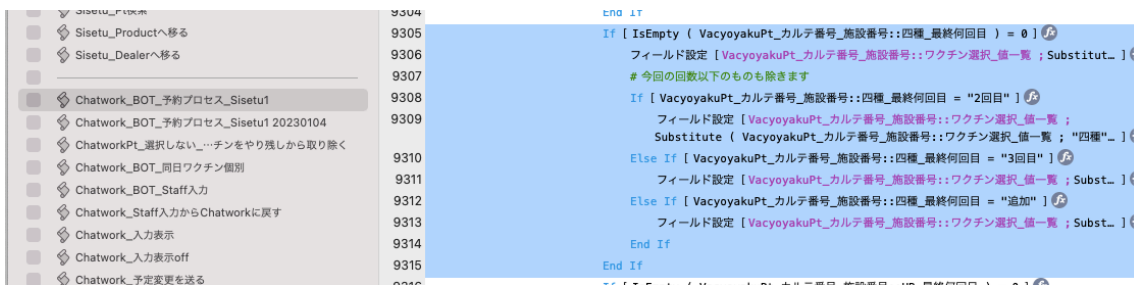


までを複製し五種混合に修正します。これで個別予約は終了です。

次に自動予約の部分に五種用のものを作成します。

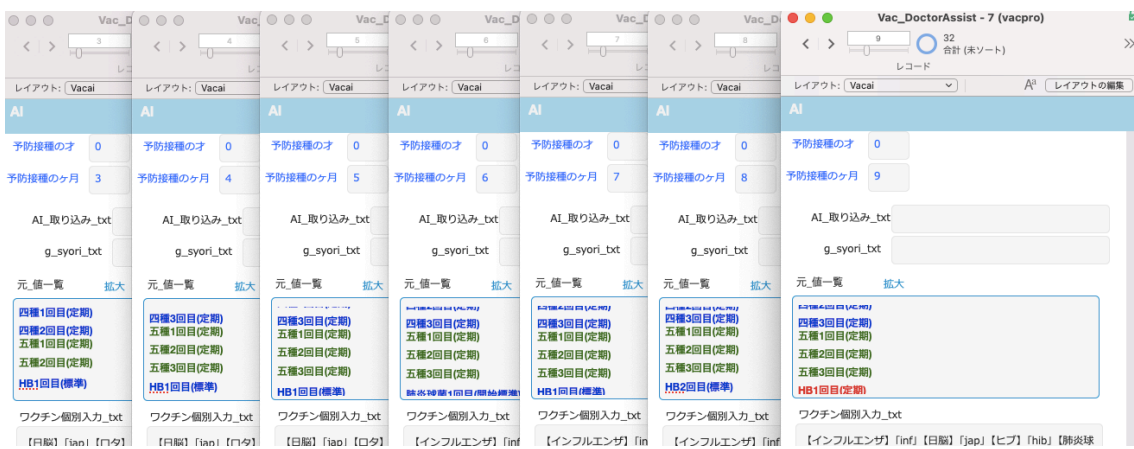


四種混合の部分の



を複製し五種用に修正します。

次に五才未満でノミネートする予防接種を各年齢レコード (Vacai テーブル) の元_値一覧フィールドに五種混合のものを加えます。

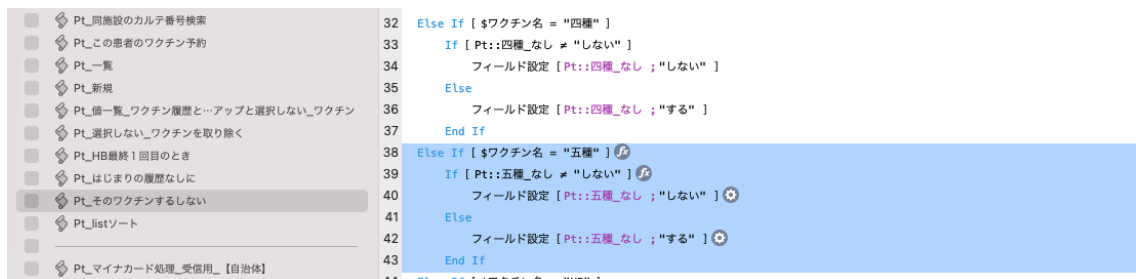


最後のレコードは5才で今の所関係ないです。3ヶ月では2回目まで、1才過ぎると追加が加わっています。

さて、四種混合と Hib ワクチンが五種混合になるわけですが、



上図のように四種混合選択画面では左のように、五種_なしに「しない」を入れると五種が選択するされないようになり、五種混合選択画面では右のように、四種_なしと Hib_なしに「しない」を入れると四種が選択されないようになります。また五種がスタートした移行段階では四種に履歴が入っているものは左図のようにして、新規は全て右図になればいいようです。これで自動予約になりそうです。この画面で必要な五種_なしフィールドを追加します。四種を踏襲して Pt_そのワクチンするしないスクリプトの内容追加し（上図）、五種_なしフィールドのボタンを下図のようにしました。



自動予約が行われる時間入力のパートで冒頭に下図のようなスクリプトを加えてみました。ここではレイアウトのテーブル Chatwork を意識して、Chatwork から出発する ChatworkPt_g カルテ番号施設番号で入力値を変更しています。

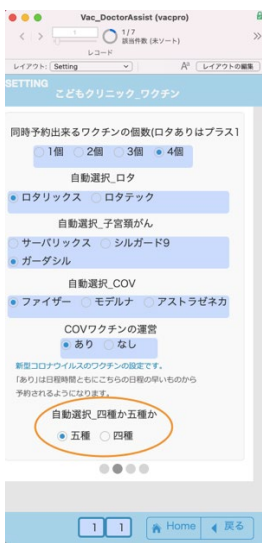
※スクリプトを作るときには必ず出発するレイアウトを意識して作成します。デバックにおいてもその辺りを意識して観察して下さい。その周りのミスが多いです。

```

8871 # -----
8872 Else If [ //時刻入力 PatternCount ( kiridasi ( Get ( スクリプト行数 ) ; "|" ; "|" ; 2 ) ; ":" ) = 1 ]
8873 # -----
8874
8875 # 四種+Hibと五種の選択を入力する。
8876
8877 If [ (IsEmpty ( ChatworkPt_gカルテ番号施設番号::四種_最終接種日 ) = 0) or (IsEmpty ( ChatworkPt_gカルテ番号施設番号::Hib_最終接種日 ) = 0) ]
8878 # まずは四種かHibの最終日に入力値がある場合は、四種を選択させる。
8879 フィールド設定 [ ChatworkPt_gカルテ番号施設番号::五種_なし ; "しない" ]
8880
8881 Else
8882 # 残りはその会場の選択に任せます
8883 If [ ChatworkSetting_施設番号会場番号:自動選択_四種か五種か = "五種" ]
8884 フィールド設定 [ ChatworkPt_gカルテ番号施設番号:四種_なし ; "しない" ]
8885 フィールド設定 [ ChatworkPt_gカルテ番号施設番号:Hib_なし ; "しない" ]
8886 Else
8887 フィールド設定 [ ChatworkPt_gカルテ番号施設番号:五種_なし ; "しない" ]
8888 End If
8889 End If

```

これで移行段階で四種や Hib が既に入っている人は四種となり、会場の Setting で五種（下図）が選ばれた個人が新規に予約を入れる場合は



四種_なしと Hib_なしに「しない」が入るようになります。

自動予約用のスクリプトの修正

四種混合の記載部分を探して五種混合用にします

修正) Vacyoyaku_患者の予測出す_Chatwork はそのままワクチン予約表作成

```

271
272
273
274
275
276

```

修正) Pt_値一覧_ワクチン履歴とキャッチアップと選択しない_ワクチン


```

620 End If
621
622
623 # 四角表示
624 # 四角表示
625
626 # 四角表示
627 # 四角表示
628
629 If [syskuhbu < "確認"] Then
630     フォーム判定 [Pt]にワクチン ; "四角" ; 1
631
632 If [PatternCount ( Pt=syskuhbu, 赤字番号抽出等ワクチン) < 1] Then
633     実数を設定 ( 赤字番号抽出 ; 赤字番号抽出 ; "四角表示" & "1" )

```

から

```

720
721
722 If [Pt] < "確認" Then
723     フォーム判定 [Pt]にワクチン ; "四角" ; 1
724
725 If [Pt] < "確認" Then
726     フォーム判定 [Pt]にワクチン ; "四角" ; 1
727
728 If [Pt] < "確認" Then
729     フォーム判定 [Pt]にワクチン ; "四角" ; 1
730
731 If [Pt] < "確認" Then
732     フォーム判定 [Pt]にワクチン ; "四角" ; 1
733
734 If [Pt] < "確認" Then
735     フォーム判定 [Pt]にワクチン ; "四角" ; 1
736
737 End If
738
739
740 # 四角表示
741
742
743 # 四角表示

```

までを複製して五種用に直す。

修正) Pt_選択しない_ワクチンを取り除く

```

129 End If
130 #
131 #
132 #
133
134 If [PatternCount ( Pt=選択しない_ワクチン ; "四角" ) < 1] Then
135     実数を設定 ( 赤字番号抽出 ; 赤字番号抽出 ; "四角表示" & "1" )
136
137 End If
138
139 If [PatternCount ( 赤字番号抽出 ; "四角表示" ) < 1] Then
140     実数を設定 ( 赤字番号抽出 ; 赤字番号抽出 ; "四角表示" & "1" )
141
142 End If
143
144 If [PatternCount ( 赤字番号抽出 ; "四角表示" ) < 1] Then
145     実数を設定 ( 赤字番号抽出 ; 赤字番号抽出 ; "四角表示" & "1" )
146
147 End If
148
149 #
150 #
151 #

```

を複製して五種用に書き換える

修正) Yotei_済入力時に最終履歴更新と次回時間待ち登録プラスコメント

```

514 #
515 #
516 #
517 #
518 #
519 If [YoteiRyokaku_履歴日付抽出番号等] < 1 Then
520     フォーム判定 [YoteiRyokaku_履歴日付抽出番号等] ; "四角" ; 1
521
522 フォーム判定 [YoteiRyokaku_履歴日付抽出番号等] ; "四角" ; 1
523
524 フォーム判定 [YoteiRyokaku_履歴日付抽出番号等] ; "四角" ; 1
525
526 #
527 #

```

から

```

621 End Loop
622 ワクチンを抽出 ( 履歴日のワクチン )
623
624 フォーム判定 [YoteiRyokaku_履歴日付抽出番号等] ; "四角" ; 1
625
626 End If
627 End If
628
629 #
630 #
631 #
632 #
633 #

```

までを複製して五種用に直す。Pt テーブルでフィールド定義も五種用が必要そうなので加えておきます。(五種 1 回目_日付、五種 2 回目_日付、五種 3 回目_日付、五種追加_日付、五種_RirekiStock、五種_予定日、五種_未予済)

修正) Yotei_次の目安日を入力しメッセージ作成

```

222     End If
223
224     If (PatternCount ( Pti:置換しないワケタン;"四種") > 0)
225         フォーム設定 ( Pti:ワケタン;置換しない);
226         Substitute ( Pti:ワケタン置換_第一;"四種"&"五種"&"六種");""];"四種"&"五種"&"六種"&"七種";""];置換
227     End If
228     If (PatternCount ( Pti:置換しないワケタン;"無") = 0)
229         フォーム設定 ( Pti:ワケタン置換_第一;"無"&"五種"&"六種");"七種"&"八種";"九種";""];置換

```

を複製して五種用に書き換える

```

298 #
299 # 置換前の状態で確認し、しなごわくも無い場合のコマンド
300 #
301 #
302 # キョウダアップのコメントを代入する準備
303 If (PatternCount ( Pti:キョウダアップとコメント;"キョウダアップ") > 0)
304     変数を設定 ( $atchop;値: 1)
305 End If
306
307 変数を設定 ( $-5までの最終ワケタン;値: If ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知";"高知";Pti:HiB_最終利用日) & If ( Pti:新長崎県_最終利
308 変数を設定 ( $-5までの最終ワケタン;値: Case ( If ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知";"高知";Pti:HiB_最終利用日) & "高知";"ヒブ
309 変数を設定 ( $今回のワケタンが5文字まで最終;値: If ( (PatternCount ( $-5までの最終ワケタン;"五種") = 1) and (PatternCount ( $
310 変数を設定 ( $-5文字ではありません;値: If ( PatternCount ( $-5までの最終ワケタン;"五種") = 5; 1; 0) )
311
312 変数を設定 ( $3文字までの最終ワケタン;値: /HiBの工夫v2 ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知";"新ア";"北近") & /新長崎県の工夫v2 (
313 変数を設定 ( $3文字までの最終ワケタン;値: Case ( /HiBの工夫v2 ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知";"新ア";"北近") & "新ア";"北近";"ヒブ
314 変数を設定 ( $今回のワケタンが5文字まで最終;値: If ( PatternCount ( $3文字までの最終ワケタン;"五種") = 3; 1; 0) )
315 変数を設定 ( $3文字ではありません;値: If ( PatternCount ( $3文字までの最終ワケタン;"新ア") = 4; 1; 0) )
316

```

も開いて五種用を加えます。

```

327 # 四種+五種+六種+七種+八種
328 If ( ( Pti:HiB_なし = "しない") or ( Pti:四種_なし = "しない") )
329 # 五種用
330 変数を設定 ( $5文字までの最終ワケタン;値: Case ( /新長崎県の工夫v2 ( Pti:新長崎県_最終利用日 = "高知";"新ア";
331 # 今回のワケタンが5文字まで最終
332 If ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知")
333     変数を設定 ( $5文字までの最終ワケタン;値: $5文字までの最終ワケタン - 1)
334 End If
335 変数を設定 ( $今回のワケタンが5文字まで最終;値: If ( PatternCount ( $5文字までの最終ワケタン;"新ア") = 6; 1; 0) )
336 変数を設定 ( $5文字ではありません;値: If ( PatternCount ( $5文字までの最終ワケタン;"新ア") = 7; 1; 0) )
337
338 # 5文字までのワケタンが5文字以内ならワケタンは置換しない。
339 If ( (PatternCount ( $5文字までの最終ワケタン;"五種") > 0) or ( Pti:年組_計算 = 5) )
340     フォーム設定 ( Pti:置換しないワケタン;値: 1)
341 End If
342
343 # 4種用
344 変数を設定 ( $5種_1文字まで;値: If ( PatternCount ( $-5文字までの最終ワケタン;"五種") = 5; 1; 0) )
345 変数を設定 ( $5種_5文字まで;値: If ( PatternCount ( $5文字までの最終ワケタン;"五種") = 4; 1; 0) )
346 変数を設定 ( $5種_5文字まで;値: If ( PatternCount ( $5文字までの最終ワケタン;"新ア") = 7; 1; 0) )
347
348 変数を設定 ( $5種置換_1文字まで;値: "置換置換" & If ( Pti:置換置換_最終利用日 = 0) ; Pti:置換置換_
349 変数を設定 ( $5種置換_5文字まで;値: /新長崎県の工夫v2 ( /新長崎県_最終利用日 = "高知";"新ア";"北近";"ヒブ
350 変数を設定 ( $5種置換_5文字まで;値: /新長崎県の工夫v2 ( /新長崎県_最終利用日 = "高知";"新ア";"北近";"ヒブ
351
352 # 四種置換
353 変数を設定 ( $5文字までの最終ワケタン;値: /HiBの工夫v2 ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知";"新ア";"北近") & /
354 変数を設定 ( $5文字までの最終ワケタン;値: Case ( /HiBの工夫v2 ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知";"新ア";"北近") & "新ア";"北近";"ヒブ
355 # 今回のワケタンが5文字以内ならワケタンは置換しない。
356 If ( Pti:HiB_最終利用日 = "高知")
357     変数を設定 ( $5文字までの最終ワケタン;値: $5文字までの最終ワケタン - 1)
358 End If

```

は五種と四種に分けてそれぞれ修正を加えます。

```

793 End If
794 If ( IsEmpty ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日) = 0)
795     フォーム設定 ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;値: 置換);
796     Substitute ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;"四種"&"五種"&"六種"&"七種"&"八種"&"九種"&"十種";""];置換
797     フォーム設定 ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;"五種")
798     フォーム設定 ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;値: Substitute ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;"四種"&"五種"&"六種"&"七種"&"八種"&"九種"&"十種";""];置換
799     Else If ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日 = "高知")
800         フォーム設定 ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;値: Substitute ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;"四種"&"五種"&"六種"&"七種"&"八種"&"九種"&"十種";""];置換
801         Substitute ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;"五種")
802     End If
803     Substitute ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日;"四種"&"五種"&"六種"&"七種"&"八種"&"九種"&"十種";""];置換
804 End If
805 If ( IsEmpty ( NotesPti:各診療科目番号;置換_最終利用日) = 0)

```

も開いて五種用を加えます。

修正) Vacyoyaku_チェックの予防接種レコード作成_自費公費 x 処理

```

84 スタートアップ ( 設定:一覧を; "Vacyoyaku_ [ < > ] 07予防接種の必要要件、再帰と自費公費と後ワケタン_ [ < > ]; 変数: 1)
85 If ( $予防接種 = "四種")
86     フォーム設定 ( Vacyoyaku:ワケタン;"ワケタン")
87     フォーム設定 ( Vacyoyaku:置換;"無"&"置換"&"無")
88     フォーム設定 ( Vacyoyaku:置換置換;"置換")
89     スタートアップ ( 設定:一覧を; "Vacyoyaku_ワケタン置換置換と期間_ [ < > ]; 変数: 1)
90     スタートアップ ( 設定:一覧を; "Vacyoyaku_ [ < > ] 07予防接種の必要要件、再帰と自費公費と後ワケタン_ [ < > ]; 変数: 1)
91 Else If ( $予防接種 = "五種")
92     フォーム設定 ( Vacyoyaku:ワケタン;"ワケタン")
93     フォーム設定 ( Vacyoyaku:置換;"無"&"置換"&"無")
94     フォーム設定 ( Vacyoyaku:置換置換;"置換")
95     スタートアップ ( 設定:一覧を; "Vacyoyaku_ワケタン置換置換と期間_ [ < > ]; 変数: 1)
96     スタートアップ ( 設定:一覧を; "Vacyoyaku_ [ < > ] 07予防接種の必要要件、再帰と自費公費と後ワケタン_ [ < > ]; 変数: 1)
97 Else If ( $予防接種 = "二種")
98     フォーム設定 ( Vacyoyaku:ワケタン;"ワケタン")

```

修正後のものです。

今回の五種新規追加では以上のようにしました。この後、最終的にデバックしてみましょう。

いろいろなワクチンが登場すると思いますが、よく似通っているものを選択するとプログラムが組みやすくなります。この五種を参考にプログラムを楽しんでください。